

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022 年2月 18 日

事業所名 放課後デイサービスくれよん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		3部屋あり、その時に応じて好きな場所を広く利用できる。	
	2	職員の配置数は適切である	6		職員の配置数にゆとりを持てると職員のゆとりになるし、子どもに対してのゆとりにもなっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		大きな段差もなくスロープも玄関に設置している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		職員間での話し合いの中で行うことが出来ている。活動の振り返り等も行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		毎年、保護者アンケートを実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		ホームページ上で公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		外部評価を検討し、業務改善をしていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		毎月1回は、研修を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		アセスメントツールを見直したことにより、より詳しく子どもと保護者のニーズが分かりやすくなった。会議で職員同士、意見を出し合って話し合いを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		アセスメントツールを見直し、分かりやすくなった。標準化しているものを使っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		細かいことは担当が行っているが、会議で話すことは出来ている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		固定化しないように会議で話し合いをしている。イベント情報などを見て、固定化しないようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	活動の時間に合わせて、課題を設定している。長期休暇には、普段できない内容を取り入れるようにしている。	一人一人しっかりと把握し、支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		子どもの状況に応じた計画を作成することは出来ている。毎日の話し合いの中で活動を計画できている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝礼の時に、前日の振り返りや気づいた点を共有している。またその日の活動内容について話し、確認を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	16	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		終礼時に話すことが出来ている。パートの職員も確認できるよう、業務ノートに書いたり次の日の朝礼時に共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		毎日きちんと記録をして、その後、検証・改善をしている。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的に行い、話し合っ、状況変化に応じて行うことが出来ている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6		ガイドラインに沿って支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		担当者会議前に全職員間で成功の整理を行ったうえで、ふさわしい者が会議に参画している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	2	学校からの引き渡しの時に、情報共有をして、必要な連絡を取り合い、調整している。	下校時間の変更や学校の先生と会えない日があるため、電話をして子どもの様子を聞くなど、連携をもっと取れるようにしたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3	現在対象者がいない。	まだ受け入れたことがないため、すぐに受け入れられるよう、事前にマニュアルを立てておく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		事業所等とは出来ている。	就学前に利用していた場所とも、必要時には連携を行っていくようにする。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		障害福祉サービス事業所等とも行っていくようにする。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		必要時には連携を行う。	特定の場所だけではなく、様々な専門機関とも連携を取っていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	コロナ禍の為、現在自粛している。	外部との交流が難しいので、落ち着き次第、計画を立てて行いたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		コロナの影響で参加できていない。落ち着き次第、積極的に参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		課題解決につながる、発達の気付きについては小さいことでも伝えて、発達の喜びを共有するようにしている。 送迎の際に話すことが出来ている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1		積極的に支援を行っていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約の際に分かりやすく説明できるように心がけている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		送迎時や面談を設け、行っている。	相談があれば時間をかけて話を聞き、適切な対応をしたいと思っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	コロナの影響で開催出来ていないが、計画は立案されている。	コロナの影響で開催することは出来ていないが、年に1回は開催をしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		苦情があった際は、職員全員に共有し、どのような対応をしていくか等の話し合いも出来ている。その後のフォローも行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		毎月通信の発行や、SNSで発信をしている。	
	35	個人情報に十分注意している	6		鍵付きの書庫で管理している。SNSに顔写真を載せる際、保護者の方に承諾書を得ている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		個々に応じた情報伝達に配慮している。一人ひとりの子どもや保護者の方にあつた支援を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	移転してからは、招待等は実施していない。	コロナが落ち着いてから招待していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		マニュアルを策定している。職員間では、共有をすることが出来ている。	保護者会等で保護者の方にも周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に避難訓練を行い、ルートや避難場所を職員間で共有することが出来ている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止の研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		身体拘束はない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	医師からの指示書提出がない。	書類等を用意し、対応をする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット事例は職員間で共有し、再発を防止するようにしている。職員全体に共有できるように、回覧に挟んでいる。事例集だけでなく、起こった時に共有することが出来ている。	